

管内月間火山概況（平成 23 年 3 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（3月31日現在）

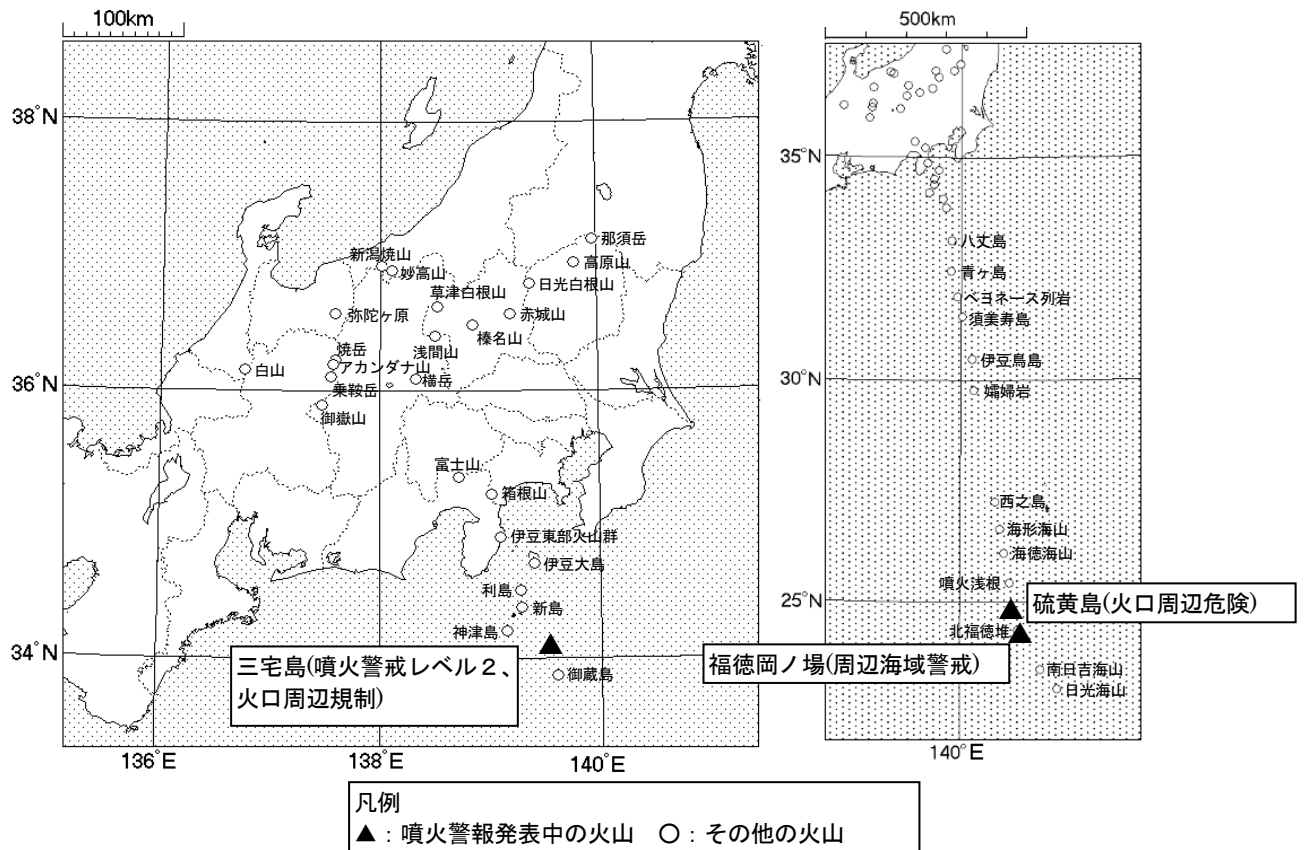
火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）：三宅島

火口周辺警報（火口周辺危険）：硫黄島

噴火警報（周辺海域警戒）：福徳岡ノ場

噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）：那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島

噴火予報（平常）：高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山



※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況（平成 23 年 4 月分）は平成 23 年 5 月 10 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省利根川水系砂防事務所、国土交通省金沢河川国道事務所、海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、東京工業大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人産業技術総合研究所、東京都、長野県、岐阜県、新潟県及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政区・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項

平成23年3月31日に噴火警戒レベルの導入に伴い、新潟焼山、焼岳及び伊豆東部火山群に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。火山の活動状況及び警戒事項等については、これまでと変わりありません。

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（平常）〕

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、日光白根山周辺では地震活動が活発な状況となっていました。その後、地震活動は低下してきています。

火山性微動の発生等、直接噴火活動に関連するような変化は認められておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

草津白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、草津白根山の北側を震源とする地震が一時的にやや増加しました。

地殻変動には特段の変化はみられませんが、湯釜火口内の北壁等では引き続き熱活動がみられています。

山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺の窪地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがありますので、注意が必要です。

浅間山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、山頂火口から500mを超える範囲に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。ただし、山頂火口から500m以内に影響する程度の噴出現象は突発的に発生する可能性がありますので、火山灰噴出や火山ガス等に警戒が必要です。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、焼岳周辺では地震活動が活発な状況となっています。その後、地震活動は低下してきています。

火山性微動の発生等、直接噴火活動に関連するような変化は認められておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

乗鞍岳〔噴火予報（平常）〕

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、乗鞍岳周辺では地震活動が活発な状況となっていました。その後、地震活動は低下してきています。

火山性微動の発生等、直接噴火活動に関連するような変化は認められておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

白山〔噴火予報（平常）〕

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、白山付近を震源とする地震が一時的に増加しましたが、火山性微動の発生等、直接噴火活動に関連するような変化は認められておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

15 日 22 時 31 分に静岡県東部（富士山の南部付近）を震源とするマグニチュード 6.4 の地震が発生しましたが、その後、余震活動は徐々に低下してきています。その他の観測データでも浅部の異常を示すものではありません。火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、箱根山周辺では、地震活動が活発な状況となっていました。その後、地震活動は低下してきています。

火山性微動の発生等、直接噴火活動に関連するような変化は認められておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、伊豆東部火山群周辺では地震が増加しましたが、その後、減少しています。

火山性微動の発生等、直接噴火活動に関連するような変化は認められておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、島北部及び島西部を震源とする火山性地震が、一時的に増加しました。

GPS 及び体積ひずみ計による観測では、2010 年 5 月下旬から伸びの傾向がみられましたが、9 月頃から体積ひずみ計の伸びの傾向が鈍化し、2011 年 1 月から、伸びはほぼ停滞しています。

三原山の噴気の状態及び熱活動には特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

新島〔噴火予報（平常）〕

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、新島付近を震源とする地震が一時的に増加しましたが、火山性微動の発生等、直接噴火活動に関連するような変化は認められておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

やや多量の火山ガス放出が続いています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。

八丈島〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕

独立行政法人防災科学技術研究所の観測によると、2011 年 2 月末頃から地震活動は高い状態にあります。

国土地理院の観測によると、2006 年 8 月に始まった島全体の隆起を示す地殻変動は、2010 年 11 月中旬頃から 12 月にかけて一時鈍化しましたが、2011 年 1 月末頃から隆起速度が増加しています。また、島の南部で大きな南向きの変動がみられます。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、これまで小規模な噴火が発生した島東部の海岸付近、島西部（井戸ヶ浜等）及び南東沖（翁浜沖）では噴火に対する警戒が必要です。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）〕

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められず、予報警報事項に変更はありません。

今月（3月）から、新たに「日光白根山」、「乗鞍岳」を掲載します。